

SL復元に向けた今後の流れ

①SL復元検討委員会

検討委員会で取りまとめた結果を恵那市に意見具申



意見
具申

恵那市

【行政組織での企画調整】

検討委員会での検討結果を基に、SL復元を通じた地域の活性化が実現できるよう、**資金調達及び事業継続**が可能となる環境を整えるよう企画調整する。

●企画調整

資金調達の方法の整理(議会の議決) ※ふるさと納税
事業継続の方法

経緯
検討

②SL復元準備委員会

新たに組織を設置

推進組織
へ発展

別組織に
による設立

R7年度

SL復元に向けた検討を継続

(SL復元準備委員会の主な検討事項)

SL復元に向けた各種検討

- * SL復元に向けた**資金調達の強化**、SLの運行に関するこ
- * SL継続運行に向けた**収支計画**に関するこ
- * PR活動、気運の情勢の推進、受入環境に関するこ など

SL復元推進組織の設立(法人化も視野)に向けた調整検討

- * 推進組織…検討委員会の発展、または別組織による設立の検討
【構成員】現在の構成員をベース

気運の情勢

- * SL乗車体験、運転体験、ふれあい体験
- * PRツールの制作

<推進組織の設立は資金調達及び事業継続の目途がたった段階>

RX年度

③(仮称)SL推進組織

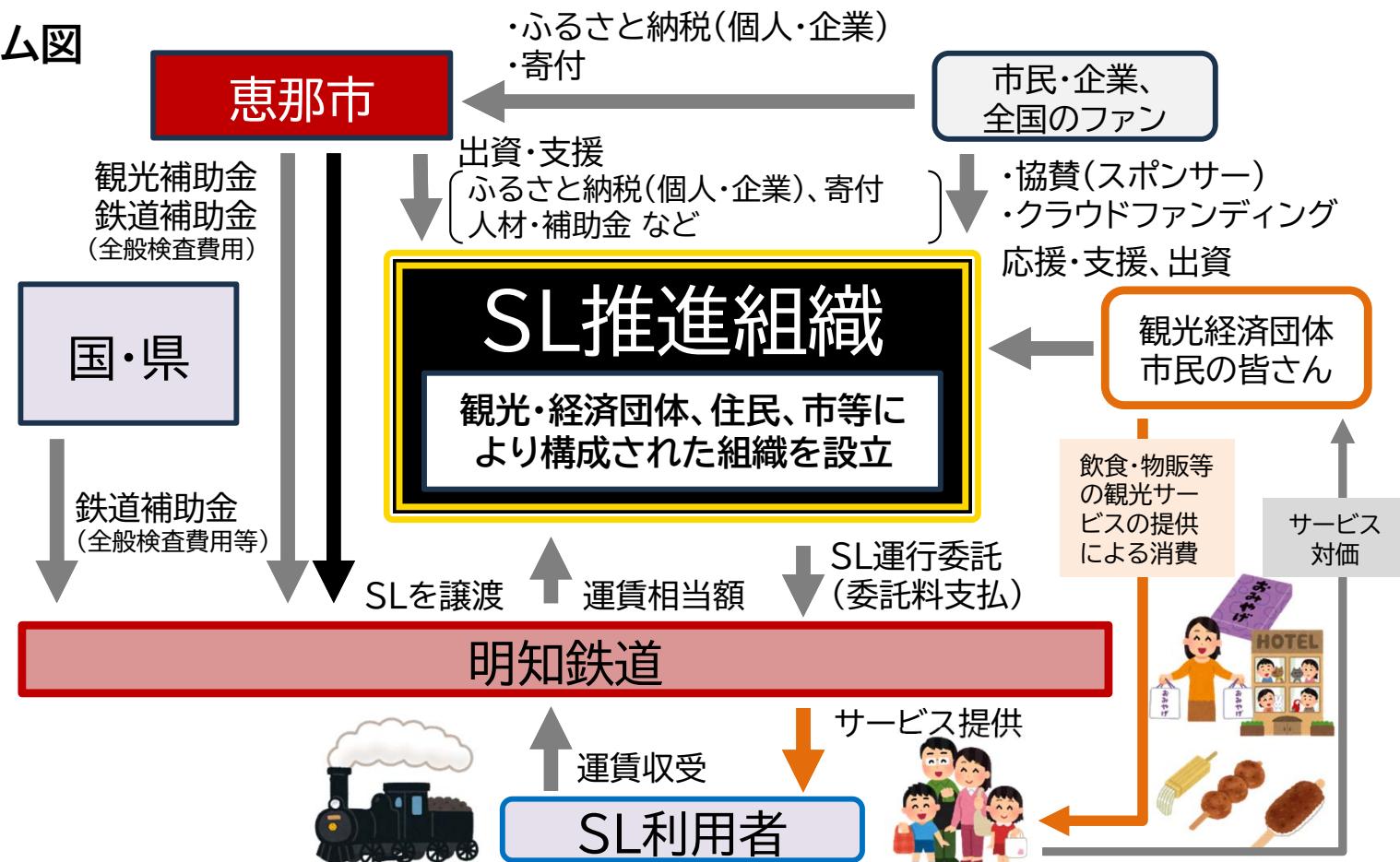
経営責任・SLを活用した地域の活性化の推進(誘客企画・プロモーション など)
※SL推進組織のイメージは次ページ

SLの運営体制について（案）

1. 体制の考え方

SLを新たな観光資源として開発し、SL観光事業を通じて地域の活性を図るため、観光・経済団体、市民、市が一丸となって事業を推進する組織を設立する。

2. スキーム図



3. 役割

種別	実施者	実施内容
運営主体	SL推進組織	経営責任・SLを活用した地域の活性化の推進(誘客企画・プロモーションなど)
運行受託者	明知鉄道	SLの運行・管理
応援・支援 盛り上げ活性化	市・市民 観光経済団体 等	応援・支援、出資、地域のおもてなし、 イベント開催、商品開発、旅行商品 など

協議事項及び検討組織

SL復元準備委員会

<委員>※各組織の長

- | | | | |
|------------|-----------|---------------|------------------|
| ○恵那商工会議所 | ○恵那市恵南商工会 | ○(一社)恵那市観光協会 | ○恵那市地域自治区会長会議 |
| ○明知鉄道連絡協議会 | ○明知鉄友会 | ○あけてつSLファンクラブ | ○(公財)日本大正村 ○市民公募 |
| ○明知鉄道(株) | | | |

<オブザーバー>

- | | | |
|-------------|--------|------------|
| ○国土交通省中部運輸局 | ○岐阜県議会 | <アドバイザー> |
| ○岐阜県恵那県事務所 | ○恵那市議会 | ○ソフトバンク(株) |

<アドバイザー>

- | |
|----------|
| ○(株)東海汽缶 |
|----------|

<事務局>

- 恵那市
・まちづくり企画部(交通政策課、企画課、地域振興課)
・商工観光部(観光交流課、商工課)
・建設部(リニア都市計画局都市整備課)

SL復元準備部会

<部会員>

- ・恵那商工会議所
- ・恵那市恵南商工会
- ・(一社)恵那市観光協会
- ・明知鉄友会
- ・あけてつSLファンクラブ
- ・明知鉄道(株)

※各組織の実務者

部会事務局：恵那市

(◎交通政策課、観光交流課、企画課)

<協議事項>

- SL復元に向けた資金調達及び事業継続に関する事項
- ・資金調達方法の整理及び強化
(ふるさと納税【個人・企業】、CF)
 - ・SL推進組織の設立に向けた調査検討
 - ・SL車両及び関連施設整備の復元費用の算出
 - ・SL車両及び関連施設整備
 - ・運営及び人材育成確保
 - ・気運の醸成(イベント開催)
 - ・SLファンクラブの拡大

観光特產品部会

<部会員>

- ・恵那商工会議所
- ・恵那市恵南商工会
- ・(一社)恵那市観光協会
- ・明知鉄道(株)

※各組織の実務者

部会事務局：恵那市
(◎商工課、◎観光交流課、交通政策課)

<協議事項>

- 最大の経済波及効果を生み出すための取り組みの整理及び気運の醸成
- ・経済波及効果の算出
 - ・**気運の醸成(SL乗車体験、PRツールの制作)**
 - ・高付加価値旅行商品造成(ツーリズムの推進)
 - ・観光素材の再発見
 - ・周遊イベントの開催
 - ・広報戦略(SNS)
 - ・SLオリジナル特産品(土産物品)の開発販売
 - ・飲食店におけるオリジナルメニューの開発販売

地域活性化部会

<部会員>

- ・恵那市地域自治区会長会議
- ・明知鉄道(株)

※各組織の実務者

部会事務局：恵那市
(◎交通政策課、地域振興課
観光交流課、都市整備課)

<協議事項>

- SL復元を契機とした地域のにぎわいの創出及び受け入れ環境整備
- 【にぎわいの創出】**
- ・地域イベントの開催
 - ・地域のおもてなし
 - ・伝統文化の継続
- 【受入環境整備】**
- ・2次交通の確保(自動運転)
 - ・SLビューポイント、駐車場の整備
 - ・沿線環境調査
 - ・植樹、植栽

※協議の進展により必要に応じてオブザーバー及びアドバイザーを追加する場合がある

SL復元準備委員会の主要協議内容(構成員の皆様の役割)

主な協議内容	協議内容詳細	部会	
		SL	観光
課題① 1.SL復元に向けた資金調達に関する事項 ※SL復元運行に10億7,500万円が必要	(1)資金調達方法の整理 資金調達方法の計画策定 ・資金調達方法の整理 ・資金調達の目標額の設定【例:必要額の〇割】 ・資金調達に向けた役割分担 (2)資金調達の強化 ①企業版ふるさと納税の強化 … 民間企業への営業活動 ※9月 恵那市基金条例改正…企業版ふるさと納税を数年にわたって活用できる仕組みに整理 ※9月 恵那市と恵那商工会議所、恵那市恵南商工会の企業版ふるさと納税の活用推進にかかる連携協定を締結 ②個人版ふるさと納税の強化 … 営業活動 ③クラウドファンディングの実施 ・資金を募るプラットフォームの検討…資金を募りたくなるプロモーション ・資金を募る内容の精査 実施内容:SL復元、車両整備、施設整理、人材育成、個別事業の精査(金額含む)など 実施時期:複数年計画的に実施／年1回程度(タイミング)	○	
課題② 2.持続可能な事業が継続できる環境を整える ※ランニングコスト1億5,600万円／年(6年間の平均支出額 9億3,600万円／6年)	(1)SL推進組織の設立に向けた調査検討 組織形態の検討(法人化 種別含む) (2)具体的な収支計画の策定 事業継続ができる体制に向けた収支計画策定 ランニングコスト1億5,600万円／年(6年間の平均支出額 9億3,600万円／6年)	○	
3.最大の経済波及効果を生み出すための取り組みの整理及び気運の醸成	(1)気運の醸成 ①SL乗車体験、運転体験、ふれあい体験 ②PRツールの制作	○	

→ **2つの課題解決の見通しが立った場合**、改めてSL復元可能であることを市に報告

資金調達に向けた取組

あけてつSLファンクラブ

明知鉄道における、蒸気機関車の復元と運行を目指すことを応援する団体(平成27年8月設立)

- 会員数 100名(一般 31名、特別 69名:令和7年3月末)
- 会 費 一般会員 年会費:5,000円
特別会員 ふるさと納税20,000円以上

令和6年度ふるさとえな応援寄付金へ寄付:93,000円
※一般会員の年会費の内、3,000円分を寄付



ふるさとえな応援寄付金

多くの個人の方からSL復元に向けた応援のご寄付をいただいています

ふるさと納税メニュー:「明知鉄道・SL」を応援

- 積立額4,077万円(令和6年12月末現在)
- 令和6年 寄付積立額 751万円



企業版ふるさと納税(恵那市まち・ひと・しごと創生寄附活用事業)

SL復元に向けた取組として、初めて企業版ふるさと納税の寄附を受けました

- 寄付の目的:SLを活用した地域活性化事業への寄附
- 寄付者:株式会社 アールエスパートナーズ(愛知県名古屋市)
- 贈呈式:令和7年6月16日
- 寄付額:100万円



資金調達例

クラウドファンディング実施例

例① まちを支えるローカル線「阿武隈急行線」を存続したい！！

阿武隈急行線支援＆引退車両の保存・活用プロジェクト 【実施主体:宮城県角田市】



ふるさとチョイスGCF WEBサイト抜粋



ふるさとなびクラウドファンディングWEBサイト抜粋

●寄付の使い道

- ・阿武隈急行線を維持するための設備の修繕や阿武隈急行8100形車両の保存
- ・市民をはじめとする阿武隈急行線の利用促進のための費用

寄付額:3億1,600万円

例② 地球の宝を守れ 国立科学博物館500万点のコレクションを次世代へ

【実施主体: 国立科学博物館】

●寄付の使い道

- ・膨大な標本・資料(約500万点)の維持・管理・修復を継続するための資金確保
- ・適切な収蔵・保管環境を整備し、コレクションを次世代へ確実に継承

寄付額:9億1,600万円



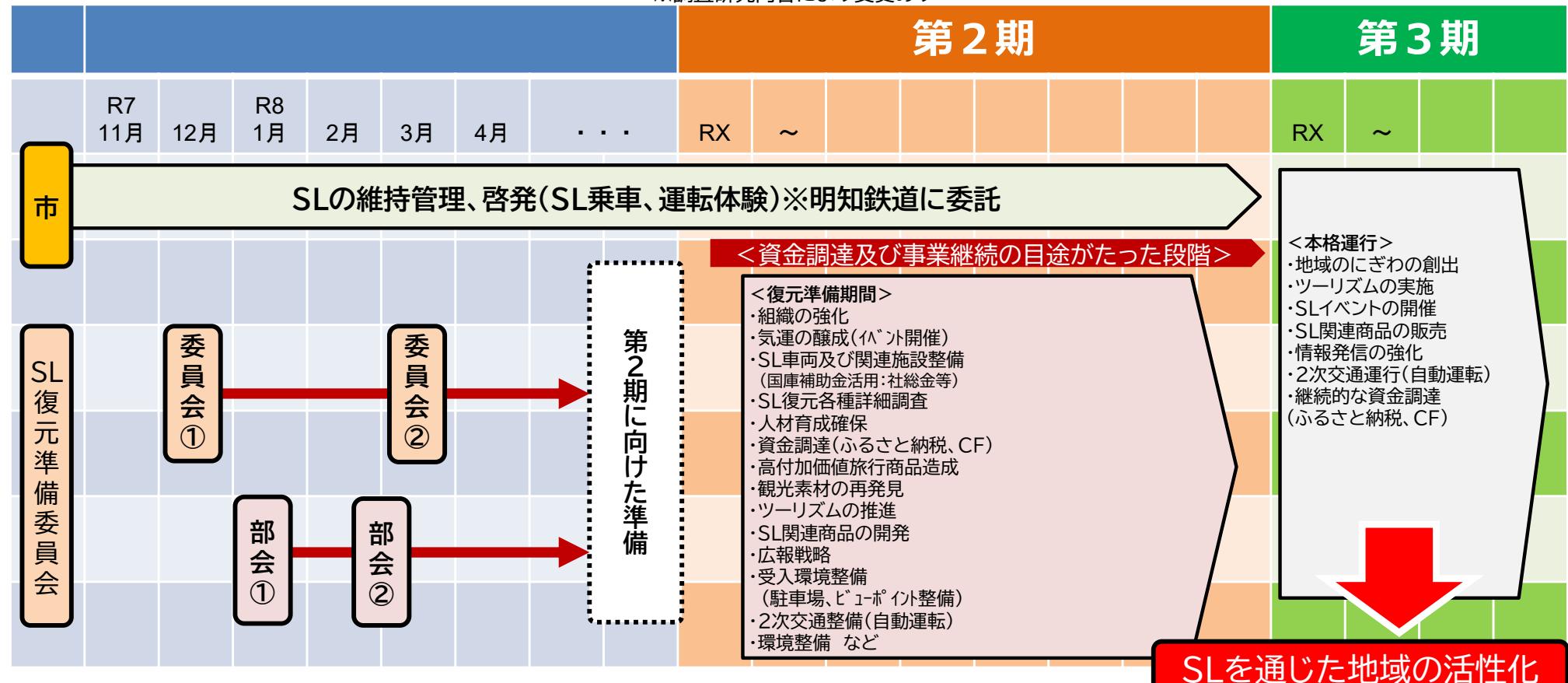
READYFORWEBサイト抜粋

スケジュール

第1期(調査研究期間)
【令和5年～】

第2期(復元準備期間)
【令和X年度以降～】

第3期(本格運行)
【令和X年】



	SL復元準備委員会【内容】			SL復元準備部会 内容		
第1回	事業実施内容の確認及び整理			第1回	資金調達方法の整理、SL推進組織の設立に向けた調査検討	
第2回	検討状況経過報告			第2回	資金調達方法の整理、SL推進組織の設立に向けた調査検討	

※観光特産品部会及び環境整備部会については、必要の応じて開催